

「東京の自然公園ビジョン」策定の考え方

1 自然公園ビジョン策定の目的

東京には約 8 万 ha の自然公園（国立公園、国定公園、都立自然公園）が広がっています。

これらのエリアには多様で豊かな自然が広がり、その自然に根ざした産業や文化などの人の営みも、また、多岐にわたっています。

こうした自然公園では、これまでのハイキングやキャンプ等の利用に加え、トレイルランニングなど、近年、自然の楽しみ方の幅が大きく広がっています。

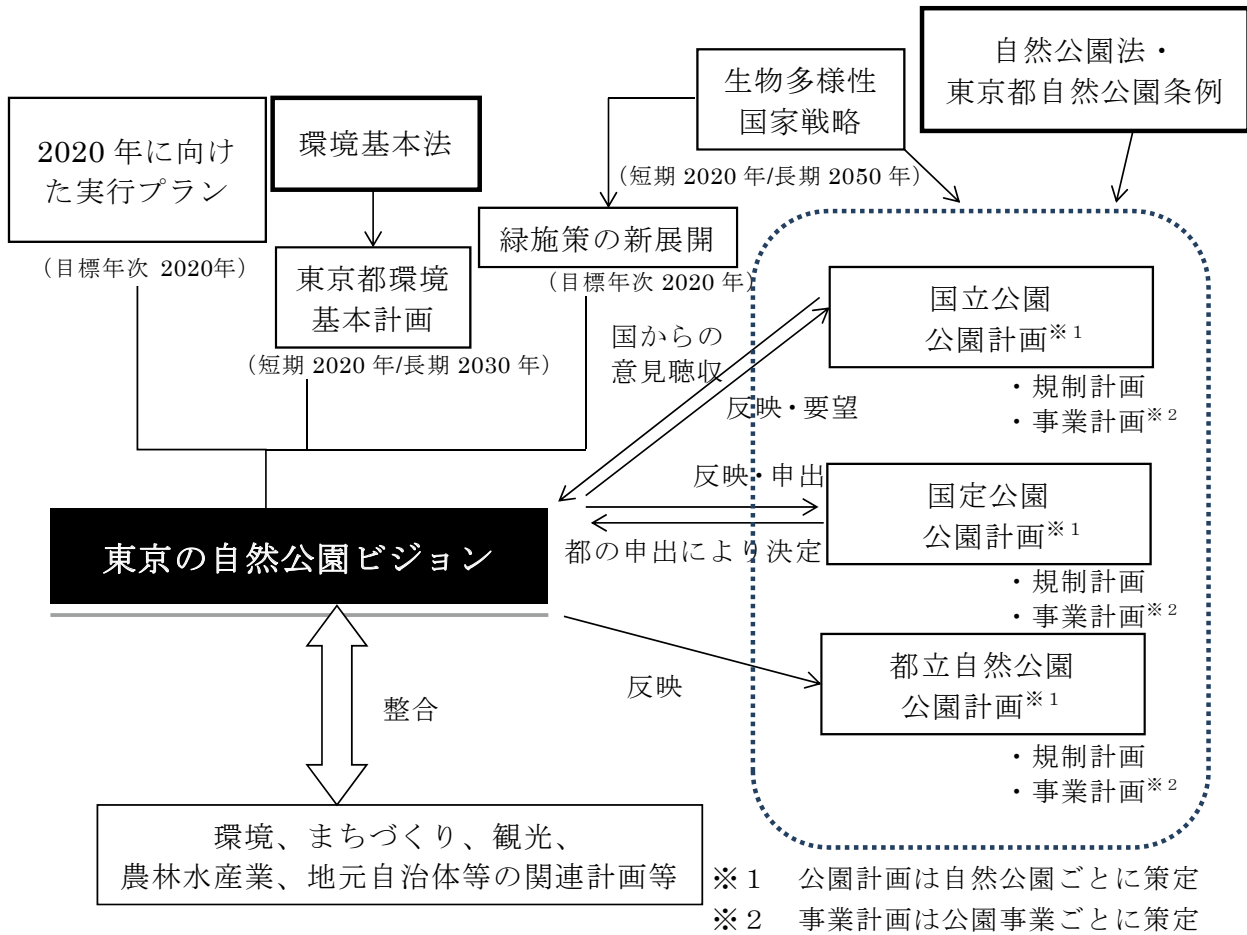
また、都心部に近く、手軽に自然に触れられる場所として海外からの来訪者も増えています。

今後、利用形態や利用者層の多様化は一層進むと考えられることから、こうした変化に合わせた環境整備や、外国人旅行者等の増加を念頭に置いた地域の観光資源との連携など、新しい時代にふさわしい、自然公園の取組を進めていく必要があります。

自然公園ビジョンは、こうした状況を背景に、東京の自然公園の持つ魅力を更に拡充し、豊かな自然を守りながら、国内外の多くの方々にその素晴らしさを体感していただけるよう、自然公園の目指す姿を明示することを目的に策定するものです。

2 自然公園ビジョンの性格

自然公園ビジョンは、「東京都環境基本計画」（2016 年 3 月）、「緑施策の新展開」（2012 年 5 月）で示された緑や生物多様性に対する考え方や、「都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～（以下、「2020 年に向けた実行プラン」という。）」（2016 年 12 月）を踏まえた、自然公園に関する総合的なビジョンです。



3 計画期間

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後の、おおむね30年間とします。

なお、社会状況の変化等に対応するため、おおむね10年を目途に本ビジョンの見直しを適宜実施します。

